

三陸沿岸道路(普代道路)の開通1年後の 交通状況や効果についてお知らせします

～交通事故減少、祭りやイベントの盛況、救急医療などで効果～

東日本大震災からの復興に向けたリーディングプロジェクトとして三陸沿岸道路等の整備を進めています。

このたび、普代道路(開通1年後)の交通状況及び効果について取りまとめましたのでお知らせします。

- ◎ 普代道路への国道45号交通の転換は継続、総交通量の約7割が普代道路を通行。

● 交通量の変化(総交通量)

| | 開通前 (H25.10.2) | 開通直後 (H25.10.17) | 開通1年後 (H26.10.16) |
|-----------|-------------------|---------------------|----------------------|
| 普代道路 | — | 2,900台/日 | 3,200台/日 |
| 国道45号(現道) | 4,300台/日 | 2,100台/日 | 1,600台/日 |

- ◎ 国道45号の交通量が減少し、**交通事故が7割減少**

- 交通量が減少したことで、より安全に通学できる環境になりました。
(学校関係者ヒアリング調査より)
- 大型車も大きく減り、歩行者への圧迫感も軽減されています。
(スクールガード(自治会長)ヒアリング調査より)

- ◎ 国道45号を活用したイベントで**入込み客数が約3倍に増加**

- 普代道路の開通で開催できた歩行者天国の元気市も、前年と比べ時間も拡大でき、地域のイベントとしても定着し商店街の活性化に役立ちました。
(普代村役場ヒアリング調査より)

- ◎ 地域の伝統行事ふだいまつりの**活性化に貢献**

- 普代道路の開通により規制時間を増やすことができたため、国道上での演舞の実施や新たな催しの実施ができ盛況となりました。
(普代村役場ヒアリング調査より)

- ◎ 久慈病院への搬送2割増加、**地域医療の質向上に貢献**

- 普代道路の開通により、時間短縮・隘路解消となり、久慈病院への搬送が増えました。より高次の医療を受けられるため、地域医療の質の向上となりました。
(救急医療関係者ヒアリング調査より)

発表記者会: 岩手県政記者クラブ、久慈報道機関各社、宮古記者クラブ、東北専門記者会

〈問い合わせ先〉

国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所

電話番号 0193-62-1711(代表)

副 所 長 としま まもる 戸嶋 守 (内線204)

調査第一課長 なりた しんたろう 成田 信太郎 (内線451)

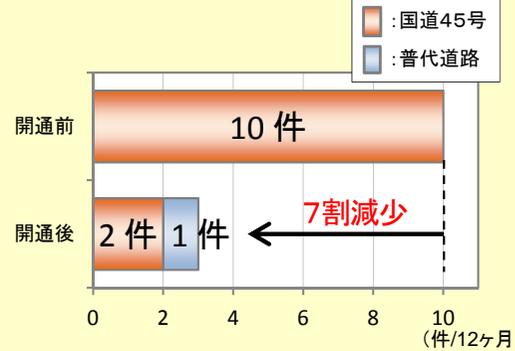
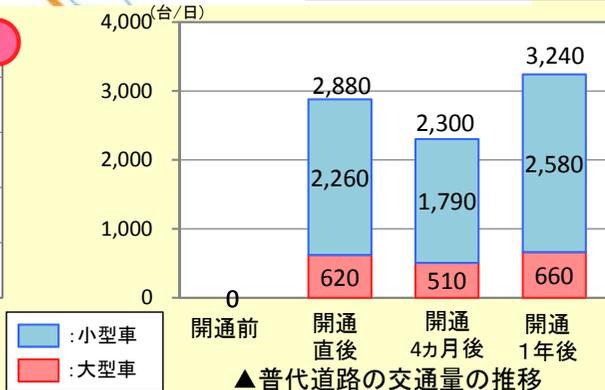
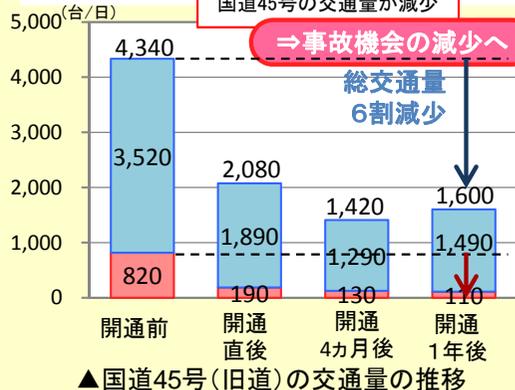
普代道路が開通して

(普代道路:平成25年10月13日開通)

- ① 国道45号の交通量が減少し、交通事故が7割減少
- ② 国道45号を活用したイベントで入込み客数が約3倍に増加
- ③ 地域の伝統行事 ふだいまつりの活性化に貢献
- ④ 久慈病院への搬送2割増加、地域医療の質向上に貢献

① 国道45号の交通量が減少し、交通事故が7割減少

- 普代道路への交通の転換が進み、国道45号の総交通量が約6割減少、大型車は約9割減少
- 国道45号の交通事故は約7割減少
- 交通量、特に大型車が減少したことで、安全な通学が可能に



▲ 国道45号及び普代道路の人身・物損事故件数の推移
 ※開通前: H22.10.13~H25.10.12の12ヶ月平均値
 開通後: H25.10.13~H26.10.12の12ヶ月値

▲ 普代道路の通行状況 (平成26年9月5日撮影)

▼ 国道45号の歩行者通行状況(開通前・開通後)



《学校関係者の声》
 ◆ 交通量が減少したことで、より安全に通学できる環境になりました。
 (H26.11 普代小学校ヒアリング調査)

《スクールガードの声》
 ◆ 大型車も大きく減り、歩行者への圧迫感も軽減されています。
 (H26.12 普代村中央区自治会長 ヒアリング調査)

※普代道路交通量観測日(人手観測による)
 開通前: H25.10.2(水)、開通直後: H25.10.17(木)、開通4ヵ月後: H26.2.12(水)、開通1年後: H26.10.16(木)

②国道45号を活用したイベント「ふだいまるごと 元気市 冬の市」で入込み客が約3倍に増加

- 普代道路の開通によって交通量が減少した国道45号を活用して企画された歩行者天国のイベント「ふだいまるごと 元気市 冬の市」
- 開催規模も年々拡大し、**地域のイベントとして定着**
- 昨年に比べ、**規制時間の拡大・ステージの設置**等でより盛況に
- 入込み客数も開通前に比べ**約3倍に増加**、村中心部の**活性化に貢献**

《前回からの変更点》

- ・ 開催時間の拡大
- ・ 新たにステージを設置
- ・ 「もちまき天国」など催しを追加

▼ステージを設置しての催しも実施



▼歩行者天国イベントの開催状況

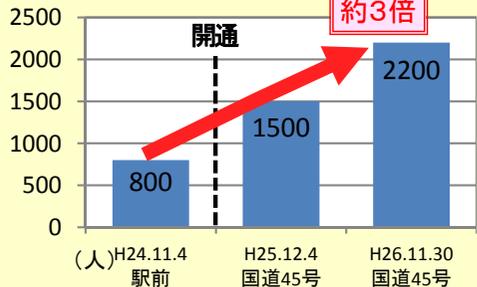


▼ふだいまるごと元気市 国道45号の規制時間



**規制時間が
4時間→7時間に増加**

■ : 通行規制
■ : 規制開放



▲元気市の入込み客数の推移
※普代村商工会調べ。

《普代村 商工観光対策室の声》

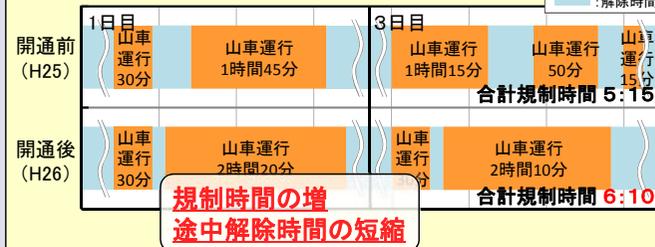
- ◆ 普代道路の開通で開催できるようになった歩行者天国の元気市も、**前年と比べ時間も拡大**でき、地域のイベントとしても定着し**商店街の活性化に非常に役立ちました。**

(H26.12 普代村商工観光対策室ヒアリング調査)

③地域の伝統行事 ふだいまつりの活性化に貢献

- 村中心部を通る国道を山車と共に練り歩く「ふだいまつり」
交通規制の時間を増やすことができ、**新たな演目などで好評**となる。
- 山車の運行もほぼ途切れることなく運行ができ、**祭りが盛況に開催**

▼ふだいまつり 国道45号の規制時間



△国道上で新たに行った催し「開運水かけ祈願」の様子

《普代村 商工観光対策室の声》

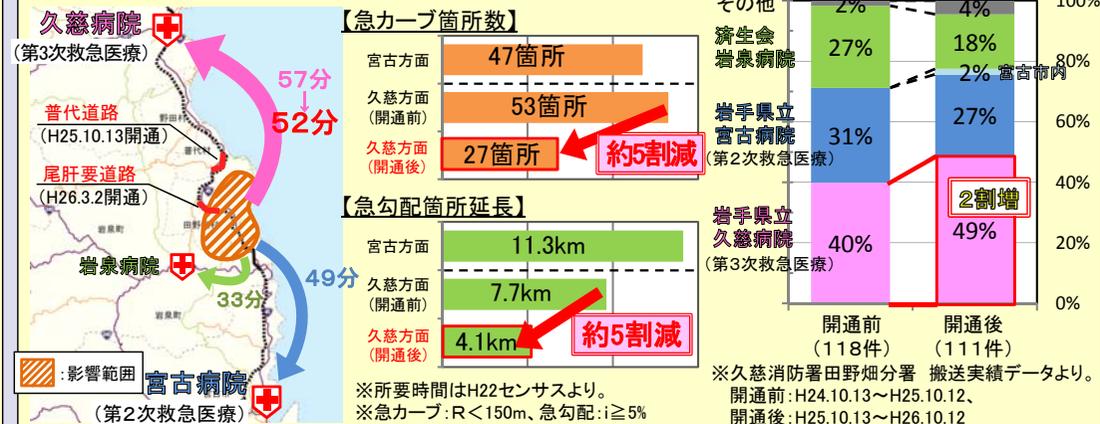
- ◆ 普代道路の開通により規制時間を増やすことができたため、**既存の演目での工夫や新たな催しを実施**することができ、好評でした。
- ◆ **祭りの活性化**にも繋がり、今後の展開も期待できます。

(H26.10 普代村商工観光対策室ヒアリング調査)

④久慈病院までの搬送が2割増加、地域医療の質向上に貢献

- 久慈病院への所要時間が5分短縮、カーブ・急勾配箇所が半減
- 第3次救急医療施設: 久慈病院への搬送件数が**2割増加**

▼久慈消防署田野畑分署 道路状況と救急搬送先の割合の変化



《救急医療関係者の声》

- ◆ 普代道路などの開通により、**時間短縮・隘路解消**となり、**久慈病院への搬送が増えました。**より高次の医療を受けられるため、**地域医療の質の向上**となりました。

(H26.12 宮古消防署 田野畑分署ヒアリング調査)